

「臨床検査」 第 24 巻 総目次

1980 年 第 1 号—第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数

今月の主題

- 1 号 白血球
- 2 号 集団検診の技術
- 3 号 肝疾患
- 4 号 生理検査
- 5 号 感染症とバイオハザード
- 6 号 赤血球の化学
- 7 号 微量金属
- 8 号 癌の臨床検査
- 9 号 補体
- 10 号 生理検査
- 11 号 (臨時増刊号) 出血傾向の Laboratory Diagnosis
- 12 号 (11 月号) 薬剤の検査
- 13 号 (12 月号) 遺伝

カラーグラフ

- 無菌室……………武尾 宏・天木 一太… 4(1)
- 肺癌集団検診のためのサコマノ集
 - 細胞法……………高橋 正宜・武内 康雄
 - 石川 裕・安藤 千秋… 128(2)
- ビクトリア青染色による HBs 抗
 - 原の組織内証明
 - 諏訪 幸次・田中 薫・森 亘… 248(3)
- RI による心疾患の診断……………成田 充啓… 372(4)
- 偽膜性腸炎と *Clostridium difficile*…上野 一恵… 500(5)
- 溶血性貧血……………三輪 史朗… 628(6)
- 水俣病 (メチル水銀中毒) の病理
 - ……………武内 忠男… 748(7)
- 機能性腫瘍の免疫組織化学的診断
 - 法……………川生 明… 872(8)
- 糸球体への補体沈着……………馬杉 洋三… 992(9)
- ニューロパチーの組織像……………大田 典也…1112(10)
- 薬尿……………林 康之…1472(12)
- 先天性代謝異常症のスクリーニン
 - グ……………一色 玄・周山 逸人…1596(13)

技術解説

- 白血球の特殊染色……………古沢 新平… 7(1)
- 白血球細胞の TdT 活性……………高久 史磨… 19(1)
- Colony stimulating factor……………富田 幹夫… 26(1)
- 公害検診と臨床検査……………高原喜八郎… 131(2)
- 集検における検体採取・処理法

- ……………内田 堯夫・若林 正雄… 141(2)
- 集検の目的と項目, 術式の選択…大場 康寛… 151(2)
- 肝疾患と肝組織内金属の検査
 - ……………恩村 雄太・平間 元博… 251(3)
- 肝疾患と走査型電子顕微鏡
 - ……………西 正与・市田 文弘
 - 武藤 正樹・藤田 恒夫… 259(3)
- 肝血管, リンパ管構築の検査
 - 佐々木憲一・北爪 伸二・奥平 雅彦… 271(3)
- テレメータリング……………安田 一… 375(4)
- リハビリテーションと生理機能検査
 - ……………佐直 信彦・中村 隆一… 385(4)
- ボディープレチスモグラフィ
 - ……………鷺崎 誠・田村 昌士… 395(4)
- 毒素原性大腸菌の検査法……………竹田 美文… 503(5)
- レジオネラ症の検査法……………藪内 英子… 512(5)
- Clostridium difficile* の検査法
 - 上野 一恵・小林とよ子・渡辺 邦友… 520(5)
- 自己免疫性溶血性貧血の検査
 - 神奈木玲児・上尾 八郎・稲本 キヨ
 - 三角香代子・野崎 康子・恒松徳五郎… 631(6)
- 赤血球のサンプリング
 - ……………佐々木匡秀・土井 和子… 639(6)
- DNA 合成に関する酵素の測定…坂本 忍… 649(6)
- Glucosylated hemoglobins ……稲田 満夫… 656(6)
- 鉛中毒の検査
 - 和田 攻・岩井 秀明・呉 国用… 751(7)
- エネルギー分散蛍光X線による生
 - 体試料中の微量金属の分析…松本 和子… 762(7)
- 毛髪と水銀……………住野 公昭… 767(7)
- 機能性腫瘍の免疫組織化学的診断
 - 法……………川生 明… 874(8)
- 制癌剤感受性試験……………松本 雄雄… 880(8)
- CEA の測定……………仁科 甫啓… 891(8)
- 蛍光抗体法による補体の検出……………馬杉 洋三… 994(9)
- 補体成分の活性の測定
 - 近藤 元治・竹村 周平・吉川 敏一…1003(9)
- 補体成分の分離精製……………鈴木 貴和…1009(9)
- 体表面心臓電位図の臨床的意義
 - ……………山田 和生・林 博史…1115(10)
- 呼吸不全のモニタリング……………岡田 和夫…1126(10)
- 皮膚電位水準と皮膚電位反射との

測定技術……………新美 良純…1134(10)	
抗癌剤の測定法……………渡辺 敏三…1475(12)	
ジギタリス剤の血中濃度	
……………田川 隆介・五島雄一郎…1489(12)	
薬剤検査のための生体試料処理…古徳 迪…1497(12)	
先天性代謝異常症のスクリーニン	
グ……………一色 玄・周山 逸人…1598(13)	
染色体検査……………坂本 博三・古山 順一…1603(13)	
羊水診断	
北村 吉宗・松本 雅彦・萩田 幸雄…1613(13)	

総 説

白血病と HLA ……………辻 公美… 31(1)	
集団検診におけるデータ処理…………古川 俊之… 157(2)	
劇症肝炎と臨床検査	
清水 勝・吉田 貴・本堂 克	
川出 靖彦・高橋善彌太…………… 281(3)	
臨床筋電図の進歩……………渡辺 誠介… 403(4)	
医学生物学におけるバイオハザード	
ドの背景と問題点……………大谷 明… 527(5)	
赤血球膜の臨床病理……………八幡 義人… 663(6)	
微量金属と生体……………吉川 博… 775(7)	
人癌特異抗原検索の現状	
……………石井 良文・菊地 浩吉… 899(8)	
補体と臨床……………稲井 眞弥…1017(9)	
肺表面張力……………徳田 良一…1141(10)	
薬物の代謝……………麻生 芳郎…1505(12)	
遺伝の仕組み……………尾本 恵市…1621(13)	

臨床検査の問題点

骨髓生検と骨髓像…新倉 春男・佐野 欣一… 38(1)	
風間 和男・寺田 秀夫	
集団検診における貧血検査……………新谷 和夫… 164(2)	
五十嵐すみ子	
A型肝炎とウイルス検索……………森次 保雄… 290(3)	
伊瀬 郁	
呼吸ガス分析器……………大久保隆男… 410(4)	
斎木 良明	
臨床検査におけるバイオハザード	
とその対策……………福見 秀雄… 538(5)	
小酒井 望	
溶血による妨害……………水田 亘… 672(6)	
佐野紀代子	
微量金属測定機の選び方……………高原喜八郎… 784(7)	
長谷川敬彦	
野本 昭三	
癌化学療法と検査値の変動……………老柳 宗忠… 908(8)	
亀野 靖郎	
血清補体価の測定……………田村 昇…1024(9)	
石倉 永	
脳波検査における賦活法の見直し	
……………福沢 等…1150(10)	
小原 甲子	

尿検査と薬剤干渉……………林 康之…1512(12)	
甲田 一馬	
先天性疾患のための日常検査……………藤木 典生…1630(13)	
大和田 操	
鈴木 健	

検査と疾患—その動き方と考え方—

前白血球状態……………伊藤 宗元・川戸 正文… 45(1)	
本態性高血圧……………渡辺 孝… 171(2)	
体質性黄疸……………上野 幸久・芳賀 稔… 299(3)	
慢性閉塞性肺疾患…金野 公郎・向井 奉文… 417(4)	
抗生剤投与中にみられた偽膜性腸	
炎と <i>Clostridium difficile</i>	
小林とよ子・磯野美登利・渡辺 邦友	
上野 一恵・桜井 恒久・蜂須賀喜多男… 553(5)	
慢性寒冷凝集素症……………小鶴 三男… 678(6)	
水俣病……………徳臣晴比古・出田 透	
寺本 仁郎・永田 仁郎… 791(7)	
担癌生体の病態	
山下 喬・河野 知弘・螺良 英郎… 913(8)	
HANE ……………行山 康…1031(9)	
ニューロパチー……………白石 悟・村井 由之…1157(10)	
てんかん……………清野 昌一…1519(12)	
フェニルケトン尿症……………大浦 敏明…1637(13)	

座 談 会

白血病の研究と新しい検査法	
下山 正徳・坂本 忍・森山 美昭	
古沢 新平・鎌田 七男	
<司会>柴田 昭…………… 54(1)	
集団検診の成果を考える	
大国 真彦・信田 重光・天神 美夫	
近藤 東郎 <司会>小泉 明…………… 180(2)	
肝生検をめぐる	
佐々木 博・柄沢 勉・菅原 克彦	
鶴沢 輝子 <司会>志方 俊夫…………… 308(3)	
ME 機器のシステムにおける安全	
石山 陽事・坂井 孝志・古幡 博	
<司会>斎藤 正男…………… 424(4)	
輸人感染症対策	
橋本 博・小川 良治・福井 雅夫	
<司会>三輪谷俊夫…………… 558(5)	
体液による癌の臨床検査	
北村 元仕・東野 一彌・荒木 英爾	
<司会>服部 信…………… 922(8)	
心電計規格の改正をめぐる	
瓜谷 富三・長尾 透・加藤 仁史	
<司会>樫田 良精……………1162(10)	
臨床検査値の個体差をどう考える	
か	
北村 元仕・萩田 善一・平山 宗宏	

<司会>石井 暢……………1646(13)

Ex Laboratorio Clinico

α_1 -アンチトリプシン欠損症

- ……………大橋 晃・猪熊 茂子… 65(1)
血中胆汁酸の簡易微量定量法……………眞重 文子… 191(2)
脳波事始・1……………下田又季雄… 319(3)
脳波事始・2……………下田又季雄… 434(4)
Legionnaires' Disease の発見……………本田 武司… 565(5)
無ハプトグロビン血症……………松友 啓典… 684(6)
替え刃事始……………武石 詢… 797(7)
塩基性フェトプロテイン……………石井 勝… 931(8)
C3 欠損症……………藤田 禎三…1037(9)
遺伝性 QT 延長症候群
……………橋場 邦武・片山 知之…1171(10)
スモンとの出会い……………田村 善蔵…1528(12)
M-蛋白のみを持った重症複合免疫不全症……………河合 忠…1656(13)

負荷機能検査

PSP 排泄試験

- 折田 義正・上田 尚彦・今井 宣子… 71(1)
ICG 試験……………浪久 利彦・小林 教雄… 197(2)
糖負荷試験……………平田 幸正… 325(3)
負荷心電図……………五味洸秀幸・南谷 和利… 441(4)
イヌリンクリアランス試験……………岩渕 勉… 571(5)

PAH クリアランス試験

- 折田 義正・今井 宣子・阿部 裕… 691(6)
パンクレオザイミン・セクレチン試験

- 竹内 正・渡辺伸一郎・白鳥 敬子… 802(7)
Schilling テスト……………寺田 秀夫… 937(8)
ACTH 負荷試験……………内田 俊也・尾形 悦郎…1042(9)
末梢血管の負荷試験……………平井 正文…1177(10)
尿濃縮試験……………中山 文義・越川 昭三…1533(12)
D-キシロース吸収試験

- ……………吉田 豊・馬場 滝夫…1661(13)

多変量解析の応用

- 多変量解析入門……………古川 俊之・田中 博… 79(1)
相関分析……………古川 俊之・田中 博… 203(2)
重回帰分析……………古川 俊之・田中 博… 330(3)
判別分析……………古川 俊之・田中 博… 449(4)
主成分分析……………古川 俊之・田中 博… 577(5)
因子分析……………古川 俊之・田中 博… 699(6)
クラスター分析……………古川 俊之・田中 博… 809(7)
数量化Ⅰ類,Ⅱ類……………古川 俊之・田中 博… 944(8)
数量化Ⅲ類,Ⅳ類……………古川 俊之・田中 博…1051(9)
多重ロジスティック関数,多重ワ
イブル関数……………古川 俊之・田中 博…1183(10)

多変量データと分布論

- ……………古川 俊之・田中 博…1541(12)

多変量解析プログラムパッケージ

- ……………古川 俊之・田中 博…1667(13)

第1回医学書院臨床検査セミナーより

- 酵素と臨床化学検査……………佐々木禎一…1190(10)
正常値と生理的変動をめぐって……………北村 元仕…1551(12)
免疫グロブリン病—最近の進歩—
……………河合 忠…1674(13)

検査室の用語事典

- 脳波検査……………江部 充… 105(1)
225(2), 349(3), 477(4), 605(5),
725(6), 849(7), 969(8), 1089(9),
1213(10), 1573(12), 1697(13)
筋電図検査……………渡辺 誠介… 107(1)
227(2), 351(3), 479(4), 607(5),
727(6), 851(7), 971(8), 1091(9),
1215(10), 1575(12), 1699(13)

質疑応答

〔臨床化学〕

GOD 法におけるムタロターゼの

- 作用……………奥田 潤… 109(1)
二波長測定の特徴……………横山 宏・斉藤 徹… 111(1)
いちばん安定した値が得られるコ

- レステロール測定法は?……………橋本寿美子… 229(2)

血中 δ -ALA デヒドラーゼの測定

- 法……………和田 攻… 230(2)
CCLF 反応と精度管理……………池田 清子… 353(3)
LDH アイソザイム分画……………嵯峨実枝子… 354(3)
遊離脂肪酸の単位……………川出 真坂… 481(4)
アポ蛋白とは……………古賀 俊逸… 609(5)
Scatchard plot とは……………市原 清志… 611(5)
CPK の UV 法による測定……………小林 允子… 729(6)
酵素法下で NaF の血糖値に及ぼ

- す影響……………高阪 彰… 853(7)

コレステロールの UV の rate 法

- は?……………野上 清信・中 甫… 855(7)

β -リボ蛋白測定時の浮上検体

- ……………塚本 秀子・大西 佳子… 937(8)

酵素抗体法などでのグルタルアル

- デヒドの作用……………高阪 彰…1093(9)
血清カルシウム値の補正……………中山 年正…1095(9)
直接ビリルビンと間接ビリルビン
……………佐久間良三・北村 元仕…1217(10)

- 弓状になる泳動像……………橋本寿美子…1701(13)

- 分光光度法での総ビリルビン値……………松村 義寛…1702(13)

〔血液〕

- 血漿凝固時間について……………松田 保… 113(1)

出血時間の検査法	山田 兼雄	232(2)
糖尿病とヘモグロビン A _{1c}	老叡 宗忠	233(2)
寄生虫感染での好酸球増加	辻 守康	356(3)
SFMC	浮田 實	482(4)
トロンボエラストグラフ	秋山 淑子	613(5)
高血圧と血球数の相関関係	高橋 隆一・伊藤 宗元	731(6)
自動血球計数器による白血球の再		
現性	新谷 和夫	857(7)
トロンボテストとカルシウムイオ		
ン	桜川 信男	975(8)
高分子フィブリノゲン複合体	風間 睦美	1097(9)
レニン・アンジオテンシン系につ		
いて	相江 勇	1220(10)
Gowers 液	日野 志郎	1221(10)
蛍光赤血球	新谷 和夫	1222(10)
経胎盤出血の母体血中に移行した		
胎児赤血球検出法		
鈴木 正彦・斎藤 博恭		1577(12)
好中球アルカリホスファターゼ	榊 尚男	1580(12)
Lee-White 法における 2 本の試験		
管	寺田 秀夫	1702(13)
〔免疫血清〕		
間接クームス試験の検体	山崎 順啓	114(1)
α_1 -ミクログロブリン	高木 皇輝	235(2)
ヘベス緩衝液	井上 栄	237(2)
狭域等電点平板電気泳動法	松田 好史	358(3)
クームス試験のレポートの仕方	水岡 慶二	360(3)
凍結血漿の交差試験	遠山 博	484(4)
検査項目の取捨選択について	長田 富香	487(4)
大量輸血の際の交差試験	遠山 博	615(5)
asialo GM ₁	中原 一彦	617(5)
二峰性アルブミンについて	土屋 達行・河野 均也	732(6)
ヒッジ赤血球に対する異種凝集素	水谷 昭夫	858(7)
マクロアミラーゼ	屋形 稔	977(8)
Rocket immunoselection 法	猿田 栄助・長縄 謹子	1100(9)
手術後のガーゼなどからの HBs		
抗原検出	小林 寛伊	1224(10)
梅毒血清反応について		
1	鈴田 達男・梅原 玲子	1703(13)
2	鈴田 達男・熊原 優子	1703(13)
3	鈴田 達男・熊原 優子	1704(13)
4	鈴田 達男・中村 節子	1705(13)
5	鈴田 達男・月館美根子	1705(13)
6	鈴田 達男・矢島 弘子	1706(13)
クロスマッチ	遠山 博	1707(13)

〔微生物〕		
下痢腸炎における細菌検査	坂井 千三	115(1)
鼻腔栄養患者の喀痰と胃液からの		
緑膿菌検出について	藪内 英子	238(2)
百日咳菌の分離	山中喜代治	488(4)
医療従事者の梅毒感染の危険性	小林 寛伊	489(4)
電子レンジによる寒天培地の加熱		
溶解	高橋 昭三	618(5)
空中浮遊菌の検査法	古橋 正吉	735(6)
分離菌の同定	高橋 昭三	1224(10)
肺気腫患者の喀痰より分離された		
菌	深見トシエ	1582(12)
劉のグラム簡易鑑別法	藪内 英子	1708(13)
HeLa 細胞とウマ血清	高橋 理明	1710(13)
〔病理〕		
Papanicolaou 染色	山岸紀美江	116(1)
LDH アイソザイムの組織化学	三輪 和子	361(3)
スクリーナー以外の細胞検査	田中 昇	737(6)
特殊染色時の固定	笠原 健弘・竹田 桂子	860(7)
髄鞘染色法	福田 典子・河口 礼子	980(8)
PAS 染色と PAM 染色		
須藤 嘉子・佐久間由子		1103(9)
染色体異常症	井上 信男・黒木 良和	1585(12)
骨髓直接法標本の分染法	月野 隆一	1712(13)
〔臨床生理〕		
肺機能検査における努力性のチェ		
ック	谷合 哲	118(1)
閃光刺激賦活法	高橋 剛夫	239(2)
基礎代謝検査	紫芝 良昌	363(3)
Master 昇降負荷試験	林 明德	490(4)
心機図における A 波率と ET/PEP		
沢山 俊民		863(7)
Master 負荷試験の所要時間		
五味潤秀幸・南谷 和利		1225(10)
〔一般検査〕		
クレアチニン・クリアランスの補		
正	山下 秀光・小出 輝	121(1)
Tamm-Horsfall 蛋白とは	藤林 敏宏	364(3)
Kato-Katz 法とは	鈴木 了司	619(5)
覚醒剤の証明法	池本 卯典	620(5)
皮膚炎とダニ	大島 司郎	739(6)
ブドウ糖負荷試験	大森 安恵	982(8)
試験紙法における薬剤の妨害	林 康之	1229(10)
ポルフィリンアイソマーの測定法		
佐々木英夫・神村 匡		1587(12)
〔診断学〕		
前立腺癌の早期診断法	小磯 謙吉	240(2)
〔検査機器〕		
交流アーティファクト	石山 陽事	493(4)
波長精度とは	南 茂夫	1713(13)

〔雑 件〕

確率紙の使い方……………飯塚 悦功… 983(8)

研 究

末梢血液検査の正常値及び個人の

生理的変動について

設楽 正登・吉元加代子・篠根 和子

梅津 静子・近藤由紀江・西川美智子

林 康之…………… 91(1)

銀・鉄ヘマトキシリン染色による

エポソ包埋の下部大腸の各種

細胞の同定……………坪内 進… 211(2)

酵素抗体法における IgG とペル

オキシダーゼとの結合比の測

定

渡辺 敏輝・三澤 裕・小山 達夫… 214(2)

悪性腫瘍、自己免疫疾患における

ブラック形成法による Anti-

body Dependent Cell-medi-

ated Cytotoxicity (ADCC)

の測定……………小松 文夫・武内重五郎… 337(3)

13 部分トリソミーと Y/15 転座の

各 1 症例

徳永 次行・河野 恭則・富岡 芳

堀越すみ子・永井 信也…………… 461(4)

ヒト抗 D, 抗 C 抗体 IgG による

リンパ球 Fc レセプターの解

析

上原 良雄・松葉 喬久・川 茂幸… 465(4)

高速液体クロマトグラフによる生

体試料(血清, 唾液, 髄液,

尿) 中の抗てんかん薬濃度測

定法……………原口 宏之・畑 実… 587(5)

ULTA-FLO 100 全血小板カウ

ンターと他機種との比較検討

……………中野 純一・荒武 八起

多田野祐子・大滝 幸哉… 593(5)

パラフィン切片による病的アスト

ログリア染色の新しい試み

……………鬼頭つやこ・松下 正明… 597(5)

酵素法に基づくアミラーゼ活性の

測定法・2

牧瀬 淳子・大沼 洋子・金子 保

原 こずゑ・金山 正明…………… 707(6)

新しい臨床検査としてのフィブリ

ノゲン分画測定を試み

前田 恭子・今村 多恵・森川 幸子

奥田 克子・小島 早苗・須知 泰山… 713(6)

尿中に出現した封入体細胞につい

て

笠井 明子・久保 育代・高橋 正宜… 820(7)

濁度測定法による血清中ヒアルロ

ン酸の検出……………藤田 清貴… 823(7)

ルミノール化学発光の臨床化学分

析への応用…………大澤 一爽・藤田 幸江… 827(7)

免疫拡散板による血中炭酸脱水酵

素 B の測定法……………宮谷 勝明… 833(7)

尿直接鏡検法による小学生児童の

尿中赤血球, 白血球数正常値

について

小沼 哲・松沢 東子・金子 昭雄… 836(7)

血小板凝集能と ATP 放出能の検

討

高木 康・尤 芳上・新谷 和夫

石井 暢・井出 徳宏・佐野 欣一… 839(7)

γ -GTP アイソザイムの新しい検

出法・1 ……佐野紀代子・長 裕子… 953(8)

視覚誘発電位と基準電極

村山 利安・橋本 優子・吉井 信夫… 957(8)

光学顕微鏡標本中の特定な部分を

電子顕微鏡写真にする試み

……………千田 龍吉・川北 勲…1059(9)

HDL コレステロールの全自動測

定法……………小田 幸生・真鍋美智子

橋本美由紀・富岡 和実…1063(9)

GOD-POD-ABTS 法における尿

糖定量の妨害物質の除去

……………斎藤恵美子・笠井 治子

石渡 和男・仁科 甫啓…1067(9)

臨床材料より分離された *Vibrio*

succinogenes の性状

渡辺 邦友・渡辺 泉・山田 規恵

磯野美登利・上野 一恵・那須 勝…1071(9)

最近の臨床材料より分離された

Serratia marcescens について

……………中村 恵一・高森 陽子

大川 澄男・柳瀬 義男…1075(9)

健常人の血清アポ GOT 濃度

山道 宏・田中 享・田村 周二

老田 達雄・三木 寛二・檀 芝之

北添 直行・福田 勝宏・大川 二朗

水田 亘……………1197(10)

新しい Bowie 染色変法

……………羽山 正義・勝山 努…1201(10)

多項目血球計数器による測定値間

の差異に関する研究

……………佐々木正照・木村 寿之

小川 祥子・黒川 一郎…1559(12)

自動白血球分類装置 Diff-3 シス

テムによる網状赤血球の算定

木村 潔・姫井紀美子・中尾 初江
 中村 恵子・中谷 信子・長瀬由紀子…1679(13)
 ヒト α_1 -ミクログロブリンに関する研究・Ⅳ…高木 皇輝・榎本 博光
 伊藤 喜久・河合 忠…1683(13)

編集者への手紙

血液凝固因子の周期律表……………有馬 広海… 468(4)
 コントロール・サーベイの中性脂肪をきちんと測ると落第点がつく……………影山 信雄… 718(6)
 影山信雄氏の手紙「コントロール・サーベイの中性脂肪をきちんと測ると落第点がつく」への返事……………北村 元仕… 783(7)

レポート

当院中検における尿結石の分析結果……………松永ふみ子・大場 操児… 961(8)

新しいキットの紹介

エンザイムイムノアッセイによる
 CEA 測定法の検討
 伊藤寿美子・飯森 糸子・仁科 甫啓
 北村 元仕・佐藤 誠也…………… 95(1)
 HBs 抗体検出用 PHA 法試薬の使用経験……………館田 朗・桜井富久子
 菊地 金男・安藤 弘一… 99(1)
 スパック T4 RIA キットによる
 血中サイロキシン測定法の基礎的ならびに臨床的検討
 ……………佐藤 龍次・伴 良雄… 217(2)
 FDPL テスト-U の使用経験
 田浦 幸一・柴田 哲雄・平井 義修
 荒谷 弘康・横山 一章・新里 健
 原田 孝司・緒方 弘文・曲 泰男… 341(3)
 酵素免疫法による血中抗てんかん薬測定キットの検討
 久良美恵子・笠原 素子・阪東 慶一… 469(4)
 緊急検査用自動分析装置による
 CPK-MB 分画の迅速定量法
 辻 哲・扇谷 茂樹・弘末 京子
 高橋 芳郎・山根早百合・久城 英人
 児玉 順三・平盛 勝彦…………… 601(5)
 ラテックス凝集反応による HBs 抗原検出の基礎的検討
 生田 満・三浦 秀人・宮沢 光瑞… 719(6)
 酵素免疫測定法による HBs 抗原検出方法の検討
 神田 靖男・伊藤 経夫・星野 茂角

武尾 宏・雨宮 洋一・勝原 徳道
 荒川 泰行・志方 俊夫…………… 722(6)
 Kyo Lipo Kit による HDL コレ

ステロールの測定

……………池田 敏・渡辺 誠
 武田 和久・長島 秀夫…845(7)

ビルビン酸酸化酵素による血清トランスアミナーゼ活性測定

植原 眞二・山下 頼厚・牧野 隆浩
 白畑 敬子・尾辻 省悟…………… 965(8)

酵素免疫測定法による α -フェト

プロテインの測定

西田 康一・松村 直幸・堀田 忠弘
 吉川 敏一・近藤 元治……………1081(9)

固相法による T₄ ラジオイムノア

ッセイ……………小豆沢瑞夫・芦田 信之

三木 哲郎・熊原 雄一…1085(9)

逆受身赤血球凝集反応法による血

清 α -フェトプロテイン測定

の臨床応用……………児島淳之介・柏木 徹

秋山 雅彦・杉浦 誠子…1205(10)

HBs 抗原検出用 RPHA 法試薬

の比較検討

吉川 明・浦川 和枝・山田 恵子
 石口 重子・野口 幸子・品田 章二
 小島 健一・大島 博・小堀 勝弘…1209(10)

EIA 法による血中サイロキシン

の測定

三上 恵世・塩谷 節子・亀井 幸子
 大久保昭行・山中 學……………1565(12)

Acyl-CoA oxidase を用いる遊離

脂肪酸測定キットの使用経験

……………林 由扶子・石川けい子
 橋本寿美子・仁科 甫啓…1569(12)

AT III L テストの使用経験

高田 昇・久住 静代・武富 嘉亮
 藤村 欣吾・蔵本 淳……………1687(13)

新しい機器の紹介

自動白血球分類装置 MICROX

の使用検討

勝田 逸郎・小林 寿子・中上 寧
 富田 善博・小西 良光・平野 正美
 伊藤 圓…………… 221(2)

自動白血球分類装置“コールター

Diff-3” システムの評価

……………村井 哲夫・榎本 孝一… 345(3)
 ヘマトクリット値(PCV)のベッ

ドサイド用測定装置の検討

……………稲岡 保子・富田 仁… 474(4)

自動浸透圧測定装置の開発と評価

- 粉川みずほ・葛野 公明・入江 章子
久城 英人・児玉 順三・内垣 隆年
吉岡 至浩……………1692(13)

臨床化学分析談話会より

CPU の活用にはやはりソフトウ

- エアがポイント……………90(1)
試薬としての酵素に関心を持とう……………170(2)
年2回の4県合同セミナーを軸に
して……………298(3)
GOT 測定の標準法試案の作成……………416(4)
期待が大きい糖尿病の新しい検査
法……………537(5)
日常検査に超微量分析法の積極的
な導入推進を！……………712(6)
第6回冬期セミナー……………774(7)
HPLC によるアミン測定技術……………921(8)
1979 年度四国支部の活動報告……………1023(9)
免疫測定法の開発と将来性……………1170(10)
ワークショップから臨床化学分析
の一つの方向性を見る……………1540(12)
メーカーとユーザーの協調を……………1629(13)

臨時増刊・11号<出血傾向の Laboratory Diagnosigs>

I. 出血と止血のしくみ

- 止血機序の新しい考え方……………松岡 松三…1238

II. 出血傾向を訴えてきたとき

1. 乳幼児、小児……………山田 兼雄…1248
2. 成人……………野村 武夫…1254
3. 婦人……………鈴木 重統…1260
4. 老人……………松田 保…1269

付. 出血傾向を呈さない凝固因

- 子異常……………神谷 忠…1275

III. 最近注目されている出血性素因

1. 血友病と von Willebrand 病…長尾 大…1284
2. 線溶阻止物質と出血
……………坂田 洋一・青木 延雄…1297
3. DIC……………大里 敬一・加藤 秀典…1304
4. 特発性血小板減少性紫斑病…安永幸二郎…1311
5. 血小板機能異常症……………磯部 淳一…1320
6. 薬剤と出血……………岡本 緩子…1330

IV. 各種疾患と出血

1. 血液疾患……………阿部 帥…1336
2. 肝胆道疾患……………上野 幸久・遠藤 了一…1341
3. 腎疾患……………久米 章司・山中 學
荻谷 利承・田部 章…1348
4. 血漿蛋白異常症……………河合 忠…1353
5. 免疫学的疾患……………齊藤 昌信…1357

V. 出血性素因のスクリーニング検査

1. 出血時間の長いとき……………山中 學…1364
2. 凝固時間の長いとき
福武 勝博・梶原 功介・藤田 武央…1371
3. 血液が固まらないとき……………真木 正博…1377
4. 術前のスクリーニング検査……………松田 道生…1382

VI. 出血性素因の新しい検査法と問題点

1. 免疫学的検査法
池松正次郎・松原 泰久・藤巻 道男…1388
2. 合成基質による検査法……………浅井 紀一…1394
3. 血小板機能検査法……………山崎 博男…1403
4. 血小板の産生、崩壊に関する
検査法……………塚田 理康…1410
5. 血小板抗体検出法……………柴田 洋一…1418
6. 血管に関する機能検査法
……………前川 正・小林 紀夫…1424

VII. 検査機器と問題点

1. トロンボエラストグラフ
大塚 博光・雨宮 博光・山中 昭二…1432
2. 自動凝固測定器……………鈴木 弘文…1436
3. 血小板自動計数機
武内 恵・山本美保子・安藤 泰彦…1442
4. 血小板凝集計……………松野 一彦・寺田 秀夫…1452

VIII. 座談会

出血傾向の Laboratory Diagnosis

- 山中 學・青木 延雄・塚田 理康
風間 睦美 <司会>河合 忠……………1459

トピックス

- アクチノイディン……………渡辺 清明…1246
各種疾患におけるプレカリクレイ
ン欠乏……………渡辺 清明…1246
アルブミンの血小板凝集抑制効果
について……………渡辺 清明…1246
抗ヒト F.VIII VWF 抗体がコラーゲン
による血小板凝集及び放出を
抑制……………渡辺 清明…1274
プロトロンビン及び第 X 因子の活
性化……………渡辺 清明…1274
DIC 364 症例における所見……………磯部 淳一…1281
ヒト血小板サイズに対する ADP,
コルヒチン及び温度の影響……………磯部 淳一…1281
第 VIII 因子関連抗原の簡易酵素免疫
測定法……………磯部 淳一…1282
人工基質及び発色合成基質を用い
る Fletcher 因子の測定法……………磯部 淳一…1282
ヘパリンによる血小板減少……………磯部 淳一…1282
可溶性フィブリン複合体 (SFC)
の簡易迅速測定法……………磯部 淳一…1296
フィブリンプレート法によるブラ
スミノゲンアクチベーター測

定時の阻止因子……………磯部 淳一…1303	
第Ⅷ因子の生体内回収率……………磯部 淳一…1303	
血小板凝集における新しいパラメーターの検討……………磯部 淳一…1329	
トロンビン希釈試験……………磯部 淳一…1334	
シアル酸, 末端ガラクトース/ <i>N</i> -アセチルガラクトースアミン残基の標識による Bernard-Soulie 症候群と正常人血小板の主要膜糖蛋白の比較……………池田 康夫…1352	
ホモシステインによる <i>in vitro</i> 血管内皮細胞の傷害……………池田 康夫…1356	
エピネフリン, ADP による血小板の増強作用におけるカルシウムの関与……………池田 康夫…1362	
アスピリン 2 週間服用患者血小板の dense body とカルシウム含量について……………池田 康夫…1362	
アンチトロンビンⅢ欠乏血漿の性質Ⅰ……………池田 康夫…1362	
循環血中の可溶性フィブリンの研究……………池松正次郎…1370	
軽症血友病の保因者の同定……………池松正次郎…1376	
第Ⅷ因子の新しい発色性定量法の評価とその経口抗凝血薬療法患者への応用……………池松正次郎…1386	
イムノアフィニティークロマトによるヒト血漿からのフィブリノゲン関連抗原の取り出しについて……………池松正次郎…1402	
プロトロンビン Houston ……………池松正次郎…1417	
フィブリン安定化因子による α_2 -プラスミンインヒビターのフィブリンへのクロスリンキング……………池松正次郎…1423	
ヘパリン及びヘパリン分画の血小板凝集への影響……………池松正次郎…1435	
Gray platelet syndrome 2 症例の生化学的検討……………池松正次郎…1435	
ヒト血管の内皮下層における第Ⅷ因子関連抗原の局在について…………池松正次郎…1458	
血小板の <i>in vivo</i> での radiolabeling…………池松正次郎…1469	
表紙説明	
血管内壁への血小板の粘着凝集像…………山崎 博男…1253	
私のくふう	
電卓を用いたコリンエステラーゼ (4pH 法) の検量線自動読み取り法…………伊藤 充・江藤 徳文・重広 佳枝・橋本 和正…318(3)	

マイクロビペット応用による細管中の微量試料及び微量有機溶媒の取り扱い…………高橋 豊三・武山 直子…584(5)	
凝集時間による血中 FDP 定量…………岡林 誠…585(5)	
図形・赤色フィルターを併用した閃光刺激による脳波賦活法の改良…………高橋 剛夫・塚原 保夫…586(5)	
封入剤容器としての点眼びんの使用について…………有賀たま江・前田 明…662(6)	
薄層クロマトグラフィーにおける正確なスポッティングの工夫…………高橋 豊三・武山 直子…843(7)	
ポリアクリルアミドゲルの染色及び脱色法…………高橋 豊三・武山 直子…1079(9)	

書 評

「臨床化学入門」改訂第 2 版…………牧野 秀夫…53(1)	
「化学療法剤の臨床検査成績に対する直接妨害」…………菅野 剛史…70(1)	
「腸管系病原菌の検査法」改訂第 3 版…………三輪谷俊夫…89(1)	
新免疫学叢書・2「免疫応答」…………星野 孝…104(1)	
新免疫学叢書・3「免疫と遺伝」…………相沢 幹…423(4)	
「New Pathways in Laboratory Medicine」…………佐々木禎一…473(4)	
“Immunochemistry in Clinical Laboratory Medicine”…………河合 忠…576(5)	
新免疫学叢書・8「免疫病—最近の進歩」…………遠山 博…592(5)	
「病理医覚え書」…………富田 仁…717(6)	
新免疫学叢書・1「免疫細胞」…………下山 正徳・菊地 浩吉…818(7)	
「結核菌検査指針」…………三輪谷俊夫…844(7)	
「解剖・組織学」…………橋本 敬祐…879(8)	
「現代の医免疫学」…………相川 直樹…890(8)	
「医学における SI 単位」…………石井 暢…960(8)	
「リーソン組織学図譜」…………永野 俊雄…964(8)	
「臨床ウイルス学ノート」…………大谷 明…1066(9)	
「リーソン組織学図譜」…………山田 英智…1084(9)	
「現代の医免疫学」…………岸本 忠三…1204(10)	
「染色体—人類の細胞遺伝—」…………石原 隆昭…1212(10)	
「生体と ME」…………吉村 正蔵…1496(12)	
「臨床ウイルス学ノート」…………栗村 敬…1550(12)	
新免疫学叢書・5「免疫と生化学」…………和田 武雄…1558(12)	
「病態生理ケーススタディ」…………阿部 正和…1686(13)	
「Functional Histology」…………藤田 恒夫…1691(13)	

トピックス

グルコヘモグロビンとブドウ糖負

荷試験	吉野 二男	18(1)
還元剤によっても偽陰性を示さない新しい潜血反応試験	吉野 二男	140(2)
アミロイド P $\equiv$ CRP	松田 重三	258(3)
免疫不全症児に見られた多数の Bence Jones 蛋白	松田 重三	270(3)
色素結合法によるアルブミン測定とヘパリン	吉野 二男	297(3)
脂質の管理用検体の溶解材料	吉野 二男	329(3)
血清フェリチンのエンザイム	吉野 二男	329(3)
ノアッセイ	吉野 二男	329(3)
新しい癌関連蛋白か——アミロイド A	松田 重三	336(3)
EAC ロゼットを形成する単球とリンパ球とを簡単に識別する方法	松田 重三	402(4)
慢性肝疾患と 7S IgM	松田 重三	402(4)
Hb-S, Hb-C のあるときはグルコヘモグロビンの割合は低くなる	吉野 二男	440(4)
腫瘍とクレアチンキナーゼのアイソザイム	吉野 二男	440(4)
冠動脈閉塞と HDL コレステロールとアルコール摂取	吉野 二男	511(5)
色素結合基質によるプロトロンビン測定法	吉野 二男	525(5)
ビリルビン測定の精度管理調査	吉野 二男	525(5)
Immunofixation 法の有用性の再確認	松田 重三	583(5)
安全なウサギ大量採血法	松田 重三	596(5)
骨髓芽細胞, 前骨髓芽細胞を集める方法	吉野 二男	698(6)
肺炎の診断のための血清アミラーゼとアミラーゼ・クレアチニンクリアランス比	吉野 二男	766(7)
唾液中のプロゲステロン測定	吉野 二男	848(7)
乳癌の肝転移とアルカリホスファターゼ	吉野 二男	889(8)
比濁法によるハプトグロビンの測定	吉野 二男	889(8)
<i>Neisseria meningitidis</i> のマルトース陰性株による髄膜炎	藪内 英子	898(8)
腸チフス患者尿からの <i>Salmonella typhi</i> の D, Vi 及び d 抗原の検出	藪内 英子	905(8)
脾刺激がアミラーゼアイソザイムに及ぼす影響	吉野 二男	930(8)
血液検査の異常値	吉野 二男	1070(9)
酵素測定のと き温度補正係数は有用か	吉野 二男	1070(9)

著しく速い移動を示す ALP アイソザイム	吉野 二男	1074(9)
膜固定化酵素を用いたガラクトースの測定	吉野 二男	1078(9)
血清鉄測定の直接法の改良	吉野 二男	1133(10)
小児の皮膚穿刺による採血	吉野 二男	1133(10)
コールター S による血液検査結果の食い違い	吉野 二男	1488(12)
クレアチンキナーゼとそのアイソザイムの検査室間精度管理調査	吉野 二男	1504(12)
前立腺切除後の CK-BB アイソザイムの一時的上昇	吉野 二男	1504(12)
輸血療法における血液銀行の役割	吉野 二男	1666(3)
粘液溶解剤を用いた喀痰中の細菌の定量的検査法	吉野 二男	1666(3)

その他

〔学会印象記〕

電気泳動学会 30 周年記念総会	新津洋司郎	179(2)
第 29 回日本臨床衛生検査学会	安井 重裕	1030(9)
第 30 回電気泳動学会春季大会	島尾 和男	1058(9)

〔お知らせ〕

細胞診スクリーナー養成所募集要項	94(1)
1980 年度細胞診スクリーナー養成研修会募集要綱	178(2)
第 10 回国際脳波・臨床神経生理学会議会告(1)	190(2)
昭和 55 年度二級臨床病理技術士資格認定試験, 一般臨床検査士資格認定試験 実施要領	306(3)
認定臨床検査医制度の発足	日本臨床病理学会 457(4)
昭和 55 年度 電子顕微鏡技術認定試験(一般技術)	557(5)
臨床化学分析談話会第 7 回夏期セミナー	638(6)
第 2 回第 2 種 ME 技術実力検定試験	721(6)
生体試料分析研究会主催による講習会	1041(9)
「臨床検査」臨時増刊号「出血傾向の Laboratory Diagnosis」	1088(9)
「臨床検査」臨時増刊号「出血傾向の Laboratory Diagnosis」	1149(10)
昭和 55 年度第 13 回細胞検査士資格認定試験実施要領	1196(10)
「臨床検査」臨時増刊号「出血傾向	

の Laboratory Diagnosis」	1511(12)
第7回臨床化学分析談話会冬期セ ミナー	1518(12)
1981 年度の新設欄紹介	本誌編集室 1619(13)
「臨床検査」臨時増刊号「出血傾 向の Laboratory Diagnosis」	1620(13)

〔ニュース〕	
第8回樫田賞授賞式	526(12)
第15回小島三郎記念技術賞 第 1回小島三郎記念技術特別賞	782(7)
〔その他〕	
第12回“私のくふう賞”発表	280(3)